

2021 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|-------------------|---|---------|------|-------------------------------|---------------|
| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 健康管理学Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎501教室 |
| 担 当 教 員 | 山根 太治 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者としての基礎知識を身につける。スポーツ指導者としての役割、特性、習得すべき技法などを理解する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 授業内課題 30% 2. 期末レポート 60% 3. 出席・平常点 10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ 第1章「指導者の役割Ⅰ」第6章「指導計画と安全管理」 共通科目Ⅲ 第1章「指導者の役割Ⅱ」第6章「競技者育成のための塩津法」 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| スポーツ指導者としてあるべき姿を、理想的な側面からだけでなく、現場での様々な問題点について情報収集しながら考察する。またアスレティックトレーナーとして、コーチら指導者とどのような関係性を築くべきなのか自らの日常的行動を鑑みながら考察する。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 日本スポーツ協会での定義を中心にスポーツ指導者の資質や役割をより深く理解する。スポーツ庁発行の部活動のガイドラインなど時事問題も加味したグループディスカッションやレポート作成を通じて、スポーツ指導者のあるべき姿を考察する。期末レポートでは、自らの資質を見つめ、スポーツ指導者として、またアスレティックトレーナーとして今後どのように成長すべきかを考察する。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義 授業を通じての到達目標 | 理想的な日本スポーツ協会公認スポーツ指導者のあり方を理解し考察する。 | | 教科書 | 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員に関する情報収集 | |
| | 各コマにおける授業予定 | イントロダクション、スポーツ指導者とは、スポーツ指導者の倫理 | | | | |
| 第2回 | 講義 授業を通じての到達目標 | スポーツ指導者とプレイヤーの関係性について理解し考察する。 | | 教科書 | クラブ活動などでの自らの経験を整理して考察しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 指導者の心構え・視点 | | | | |
| 第3回 | 講義 授業を通じての到達目標 | トップアスリート育成について理解し考察する。 | | 教科書 | トップアスリートの育成例について情報収集する | |
| | 各コマにおける授業予定 | 世界を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割 | | | | |
| 第4回 | 講義 授業を通じての到達目標 | スポーツ指導者とプレイヤーの関係性について、コーチングスキルの側面から理解し考察する。 | | 教科書 | コーチングの成功例や失敗例について情報収集する | |
| | 各コマにおける授業予定 | プレイヤーと指導者の望ましい関係 | | | | |
| 第5回 | 講義 授業を通じての到達目標 | ミーティングのあるべき姿について理解し考察する。 | | 教科書 | ミーティングのあるべき姿について、自らの経験を考察しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | ミーティングの方法 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|---|------|---|
| 第6回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 国際競技力向上に関する取り組みを理解し考察する。 | 教科書 | オリンピック選手らの取り組みについて情報収集する |
| | | 各コマにおける授業予定 | 世界の舞台を目指すアスリートの育成・強化のあり方と指導者の役割 | | |
| 第7回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ指導計画の実際を理解し、問題例に応じて立案する。 | 教科書 | 指導計画素案を立案しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 指導計画の立て方 | | |
| 第8回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | トップアスリートとその育成に関わる指導者のあり方を理解し考察する。 | 教科書 | トップアスリートのコーチについて情報収集する |
| | | 各コマにおける授業予定 | トップアスリートを育てるために | | |
| 第9回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | トップアスリートとその育成に関わる指導者の評価法を理解し、モデルケースを考案する。 | 教科書 | トップアスリートの評価の有り方について実例を探し情報収集する |
| | | 各コマにおける授業予定 | トップアスリートの育成・強化の方法とその評価 | | |
| 第10回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | チームに関わる指導者のあり方とマネージメントの手法を理解し考察する。 | 教科書 | チームマネージメントについて、アスレティックトレーナーの立場から考察しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 競技力向上のためのチームマネージメント | | |
| 第11回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | チームマネージメントの計画を立案する。 | 教科書 | チームマネージメント計画について、アスレティックトレーナーの立場から素案を作成しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 競技力向上のためのチームマネージメント | | |
| 第12回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 競技力向上につながる情報収集の方法をモラルとを理解し考察する。また、実際に情報収集を行う。 | 教科書 | 今までの情報収集の効率化について考察しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 競技力向上のための情報とその活用 | | |
| 第13回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 関連トピックスについてグループディスカッションを通じて理解を深める。 | 教科書 | 本科目で学習した内容について自らの考えを整理し表現できるように準備しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 関連トピックス | | |
| 第14回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 関連トピックスについてグループディスカッションを通じて理解を深める。 | 教科書 | 本科目で学習した内容について自らの考えを整理し表現できるように準備しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 関連トピックス | | |
| 第15回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 関連トピックスについてグループディスカッションを通じて理解を深める。 | 教科書 | 本科目で学習した内容について自らの考えを整理し表現できるように準備しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 関連トピックス | | |